

SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

宣言日 2021 年 11 月 1 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿		
自然豊かな駿河湾と清水港を守り、地域社会に貢献する安心安全、快適な海上交通サービスを提供する。		
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動		
世界遺産・富士山&三保松原、清水港という恵まれた観光資源を活かした乗船体験クルーズ。		
目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組内容	2022年12月31日までの取組目標
	静岡市内の小学生を対象にした社会科見学時に、清水港の歴史・名所などを案内する乗船体験クルーズを実施（前年29件）。	静岡市と連携しながら、子供達の乗船体験クルーズを実施する（30件目標）。また、県内外の小学校へも展開を図るべく、旅行代理店を通じた周知活動を積極的に行う。
	市民の足・観光の足として、清水港における水上バス（江尻～日の出～三保）の運航を行ってきた。	交通の結節点となるべく、各交通事業者とも連携した水上バスの運航を計画し、海上交通という視点から地域の交流人口を増やしていく。
	津波避難や台風対策など災害を想定した訓練を、これまでも年に2回実施してきた。	近年、甚大化する台風や海象の変化に迅速に対応すべく、社内における災害避難訓練を年2回以上実施する。
	長年に渡り、三保棧橋における周辺美化と棧橋の保守を通じて、清水港の海辺の保全活動を行ってきた。	三保棧橋において周辺の景観を損ねないように、棧橋の保全を行っていく。また、三保棧橋付近の海岸に漂着する海洋ゴミの清掃活動を年2回実施する。

（記載上の注意）

- 1 「目標に関連する取組内容」は、3つ以上のゴールに関する取組を記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	富士山清水港クルーズ株式会社	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	1 事業所
2	業 種	6. 運輸業	
3	従業員（構成員）数	61 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役社長
		氏 名	大井 一郎
5	所 在 地	〒 424-0922	
		静岡県静岡市清水区日の出町10-80 マリンターミナル3階	
6	ホームページURL	https://www.shimizu-cruise.co.jp/	